

令和5年度 経営改革プラン

団体名	神戸都市振興サービス株式会社	
設立年月日	昭和55年8月21日	
団体の設立目的・沿革	<p>昭和55年8月21日、神戸新交通株式会社が100%出資する新交通サービス株式会社として発足。</p> <p>平成12年4月28日、医療・バイオ分野などの新事業の創出を支援するため、新事業創出促進法に基づき、「先端医療センター」の整備主体として、地域振興整備公団（現：独立行政法人 中小企業基盤整備機構）・神戸市・民間企業から出資を受け、神戸都市振興サービス株式会社に商号変更。</p> <p>神戸医療産業都市の中核施設を整備するとともに施設の管理・運営を行い、良質な研究環境を提供するなど神戸医療産業都市の側面的支援策を展開する会社として事業を開始し、現在に至る。</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	貸貸事業	自主事業
	施設管理事業	自主事業
代表者	代表取締役社長 長谷川 達也	

役職員数 (令和4年7月時点)	取締役		監査役		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		3	3
神戸市派遣職員	1	2	-	-		5	8
神戸市OB職員	1	-	1	-	9		11
その他	-	2	-	2	2	-	6
合計	2	4	1	2	11	8	28

財務状況 (単位：百万円)	令和3年度	令和2年度	差引
経常損益	200	93	107
税引後当期純利益	137	68	69
販売費及び一般管理費	100	181	▲ 81
流動資産	6,159	5,003	1,156
流動負債	464	273	191
長期借入金 (固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	2,317	1,746	571

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

ミッション①	良質な研究環境の提供
ミッション②	安定的な収益の確保

■ 短期的なミッション（令和 5 年度のミッション）

ミッション①	施設利用率の維持・向上
ミッション②	当期純利益の確保

■ 経営指標（令和 3 年度）

経営指標				令和 2 年度	令和 3 年度	前年度比増減	令和 2 年度実績中小企業実態基本調査による業種別平均値
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員 1 名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	3.579	7.632	4.1ポイント	1.438
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	7.26%	6.28%	▲1.0ポイント	20.12%
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	0.60%	1.27%	0.7ポイント	1.44%
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	36.81%	32.46%	▲4.3ポイント	69.54%
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	1832.65%	1327.88%	▲504.8ポイント	156.65%
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	97.43%	96.05%	▲1.4ポイント	33.61%
持続性	自己資本当期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	0.45%	0.91%	0.5ポイント	3.44%
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	0.54%	1.12%	0.6ポイント	20.31%

■ ミッション工程表

ミッション名		令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション													
良質な研究環境の提供	5か年保全計画に基づくラボビルの補修等 (IBRI: 冷熱源設備保全等、 BMA: 中央監視装置更新等)			5か年保全計画に基づくラボビルの補修等 (IBRI: 受変電設備保全等、 BMA: 昇降機設備関係保全等)			5か年保全計画に基づくラボビルの補修等 (IBRI: ボイラー更新等、 BMA: 排水処理設備更新等)						
	90%以上の入居率維持等 (賃料水準の適正化等の実施)												
安定的な収益の確保	総務・経理事務のシステム化による業務コスト削減等												
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
短期的ミッション													
施設利用率の維持・向上	神戸市の誘致担当課と施設入居に向けた情報交換												
当期純利益の確保	経営に携わるメンバーによる毎月の財務状況確認及び、財務状況に応じた工事計画の検討等を実施												

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	管理運営する施設の入居率の90%以上維持や設備管理の集約化に努めつつ、事務のICT化による業務コストの削減等に努め、利益を確保して継続的に安定経営を行うことで、神戸医療産業都市を側面的に支援する。また令和5年度始期の第5次中期経営計画では下記の5つの基本戦略を柱とし、中長期的な視点や、SDGsの考え方もふまえながら企業価値の向上とサステナブルな成長を目指す。
	(1)サステナブルな成長を支える経営基盤の構築	各施設90%以上の高い入居率の維持を目標とし、事務のDX化を推進し、配当の継続実施も考慮しつつ黒字の継続に努める。
	(2)脱炭素、カーボンニュートラルへの対応	環境負荷が小さい機器の導入や工法の実施に積極的に取り組む。
	(3)中長期保全計画に基づく施設の予防保全	予防保全により、突発的な修繕を減らし、設備の耐久性を維持し、コスト削減するとともに、5か年保全計画に基づき大規模改修を進める。
	(4)ライフサイエンス系スタートアップ支援	ライフサイエンス系スタートアップに対し、低廉な賃料でのシェアラボの提供を始めとする支援の充実に努める。
	(5)多様な人材交流によるイノベーションの促進	クリエイティブラボ神戸2階のイノベーションパークにおいて、顧客に多様なワークプレイスを提供するとともに、人材交流を促進する。

■市支援策の活用状況（令和4年度）

外郭団体共通内部通報窓口

経営懇談会

外郭団体職員向け研修

民間代替性調査

専門家紹介制度

経営診断

企業統治状況調査